

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立松山東高等学校
学校番号(20)

評価実施日	令和5年2月6日(月)		
委員	氏名	所属等	備考
	大西 正氣	松山市東雲公民館長	
	井門 照雄	元愛媛県PTA連合会会長	
	井手 一隆	株式会社「イデックス」代表取締役	
	井上 敏憲	四国地区国立大学連合アドミンジョンセンター長	
	葛原 健二	愛媛県庁	
	林 尚文	元PTA会長	
	三好 計彰	松山市立道後中学校	
	宇津見亮子	八雲保育園長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 学習指導について 生徒による自己評価の中で、学習活動、特に家庭学習に関する評価が低い傾向にあること、また、家庭学習時間が減少傾向にあることが気になる。</p> <p>2 進路指導・生徒指導について 担任による個人面談の年間面談回数10回以上というのは、目標設定としては高いのではないかと考える。面談も大切であるが、普段の生徒への声掛けの方が大切であると考えます。</p> <p>3 安全管理について 危機管理マニュアルには、どのような項目があるのか。また、防災避難訓練のブラインド型とは、どのようなものか。</p> <p>4 図書館活動について 図書館の利用が減っているようである。生徒の読書量は減少しているのか。</p> <p>5 学校経営全般について 人権・同和教育訪問を参観したが、優秀な生徒が多いと感じた。先生方には、優秀な生徒を伸ばす指導をお願いしたい。 今年度から取り組んでいる「松山東高グローバル事業」は、生徒のマネジメント能力の向上やリーダーシップの育成など様々な効果が期待できるため、継続・発展して欲しい。</p>	<p>生徒によって、家庭学習の捉え方が異なっている。生徒の学習活動を適切に把握し、家庭学習の充実につながる調査となるよう見直しを行う。</p> <p>今年度、面談強調週間を設け、面談時間を確保した上で設定した。生徒への声掛けは大切であり、多くの先生が生徒に声掛けを行っている。声掛けも行いながら、適宜、面談を通して生徒をサポートしていきたい。</p> <p>地震や火災など、災害発生時の対応をマニュアル化している。毎年見直しを行い、年度始めに研修を実施している。ブラインド型は、訓練実施日時を生徒に伏せて行う訓練のことで、突然の災害発生にも冷静に対応するために実施している。</p> <p>各教室に図書館の本を15冊程度置いており、その本を読む生徒も多い。学校全体で年間2万冊以上の読書も達成見込みであり、生徒の読書量は減少しているとは考えていない。</p> <p>本校には、将来、各方面でリーダーシップをとる生徒が多くいる。グローバルな視点を持ち、地域課題の解決に向けて主体的に取り組み、地域に貢献できるグローバルリーダーとしての資質・能力を備えた人材育成に取り組んでいきたい。</p>